

「子どもに障がいがあるとわかったとき、この子よりも一日だけ長く生きたい。」と思っていたが・・・  
「今は、皆で笑って、泣いて、仲良く暮らす家があればいい。」

# わや 和家



## 特定非営利活動法人まぐのりあ

☎ 519-3625

三重県尾鷲市大字向井 151 番地 1

☎ (0597) 37-4030

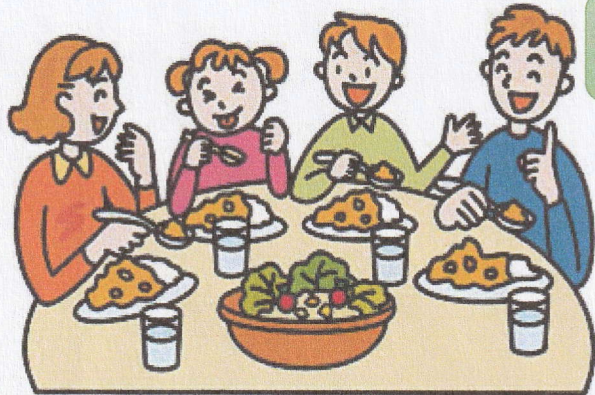
FAX (0597) 37-4031

Eメール magumagu@gaea.ocn.ne.jp





「リビングは交流の場」(入居者、支援者、ボランティアが集まって…)



ここには、普通の生活がある



「行ってきます」(平日は日中系事業所等で過ごします。)



休日は、買い物や地域のイベントへ…。



## 和家について

重度・重複障がい者の「暮らしの場」です。家庭的な環境で過ごすことができ、趣味や余暇活動をとおして、生きがいを感じ、社会参加ができるような支援をしたいと思えます。(福祉サービスとしては、障害者総合支援法による共同生活援助事業になります。)

### 入居定員 5名

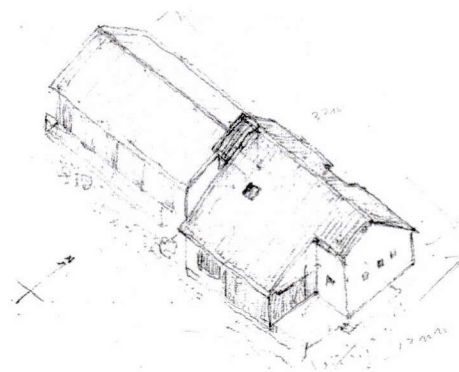
少人数で暮らすことによって、一人ひとりの生き方や生活を尊重し、プライバシーを守ります。多人数での集団生活の場ではありません。一人ひとりが自分の部屋でくつろぎ、音楽・テレビ鑑賞など自由に過ごすことができます。

## 和家の建物・設備

プライベートスペース…各入居者の居室です。(入居者の許しなく入室はできません。) 居室近くに、浴室、洗面室、トイレなどを設けます。

パブリックスペース…リビング、食堂・キッチン。(入居者の食事や喫茶などのスペースです。共同で利用します。)

※上記以外に、事務室(夜間宿直室を兼ねる)や家族、友人やボランティアが利用できる和室があります。



## 利用できる時間帯

平日の昼間は、生活介護事業所などの日中活動に参加します。帰宅時から翌日の通所開始時までがホームでの生活になります。(病気などの理由で通所できない時は、和家で支援します。) 休日は一日をとおして、過ごすことができます。安全が確保できる場合には外出や外泊は自由です。

## 支援スタッフ (職種によって兼務となります)

- ・管理者(支援スタッフ、和家の業務などの管理)
- ・サービス管理責任者(個別支援計画作成・見直し、内容評価、日中活動系事業者との連絡調整など)
- ・世話人(食事の提供や生活上の相談等、入居者の日常生活の支援)
- ・生活支援員(食事や入浴、トイレなど、入居者の支援)
- ・夜間支援従事者(夜勤を行う支援従事者・夜間の支援)

## 和家への入居について

①障害福祉サービスを利用するための「受給者証」が必要です。各市町村の担当課にお問い合わせください。

※尾鷲市・紀北町の場合は以下のとおりです

尾鷲市福祉保健課 (0597) 23-8203

紀北町福祉保健課 (0597) 46-3122

②相談支援事業所による、計画相談が必要です。各事業所にお問い合わせください。

※尾鷲市・紀北町内の計画相談事業所は以下のとおりです

相談支援事業所 ぷらん結 (0597) 22-3170

障がい者相談支援センター ありす (0597) 23-3007

③入居は、当法人との契約になります。当法人にお問い合わせください。

### 【利用料金】

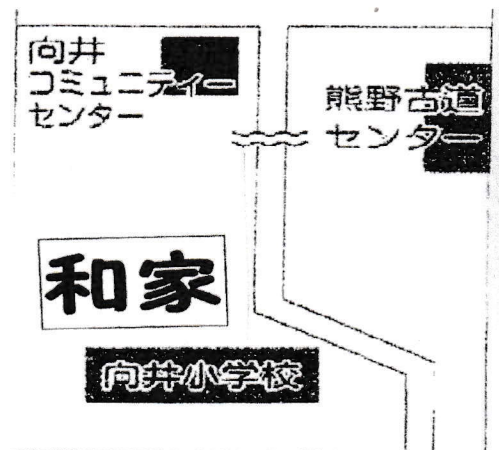
①福祉サービス利用分については、自立支援給付等の対象となるため、自己負担分は 1 割です。(上限 37,200 円) 但し、所得により減免となります。(障害基礎年金1・2級のみの方については、自己負担は無しになります)

②下記の金額については、自己負担となります。

項目	金額	備考
家賃	35,000 円	10,000 円が給付補助されます。
食材費	22,000 円	入院等の場合、食材費は一日単位で計算します。 その他の費用については合理的な計算により、 減額します。
光熱費	15,000 円	
日用品	3,000 円	
送迎費	実費	20 円/km
その他の費用	実費	

### 和家の設立まで

- 2016年9月 「グループホームを作る会」(任意団体)設立
- 2017年8月 「特定非営利活動法人まぐのりあ」として認証される
- 2017年12月 尾鷲市向井地内にグループホームの建設地を取得
- 2018年11月 建設工事着工
- 2019年3月 「和家」完成
- 2019年4月 障害者総合支援法による共同生活援助事業開始



### 和家へのアクセス

- JR…「尾鷲駅」下車。尾鷲市ふれあいバスまたはタクシー15分。
- 三重交通松阪熊野線…「熊野古道センター」下車、徒歩10分。
- 尾鷲市ふれあいバス…「向井小学校前」下車、徒歩8分。
- 自動車…紀勢自動車道「尾鷲北IC」から15分。熊野尾鷲道路「尾鷲南IC」から15分。

### まぐのりあの目指す方向

グループホームへの入居によって、親や家族に依存していた生活から「暮らし」や社会参加の核ができます。自らの意思決定による生活は、閉ざされていた生活から自発的な生活空間への転換です。障がい者自身の意思を尊重した適切な支援があれば、重度の障がい者も普通の暮らしができます。家族の介護から自由になり、将来の安心と自立を得るには、家庭的な暮らしの場を増やさなければなりません。シェアハウスのような住まいも考えられます。また、日中活動としての生きがいや生産活動も考えていきたいと思えます。しかし、どのような「住まい」や日中活動の場も、地域から閉ざされれば、「隔離」や「孤独」に繋がります。ボランティアや地域の人たちとの協働でなくてはなりません。「適切な支援と地域の人たちの協力があれば、普通に暮らしていくことができる。」私たちは、チャレンジを続けます。

## ご協力をお願いします。

「和家」は多くの皆様のご協力によって開設したグループホームです。今後も、「和家」の運営や「NPO法人の活動」のために、ご協力をお願いします。

- ・賛助会員の登録(年会費の納入<1口1,000円以上>によって、活動に協力)
  - ・「和家」の運営や備品購入、グループホームの増設、シェアハウスの建設のための寄付
  - ・「和家」でのボランティア活動。交流や環境整備(除草や野菜作り等)などあります。
- ボランティア活動の内容などについては、一緒に考えたいと思えます。